

第十四回 貴族院產業組合法案特別委員會會議事速記録第一號

(七六)

明治三十三年二月二十日(火曜日)午後零時三十六分開會

○委員長(子爵谷干城君) ツレナラ是ヨリ始めマス、デチヨット皆サンニ御相談ヲシテ置キマスガ、詰リ是ハモウ屢々出タ案デ私ナドモドウゾ其害ノ有ル所ハ十分見テハ居リマスケレドモ、隨分目ハ前ニ再々通シタルデアリマスルガ詰リ是ハマア通スカ通サヌカト云フガ先ニ極ラヌトナルマイト思フ、凡ツ是ヲ其衆議院デ此通りノ案ニナツテ居リマスカラモウ大抵先ヅ不都合ハ無イモノト認メテ通スト云フコトニナリマスレバ、成ルベク此ムヅカシイ御論ノ御考ノアル所ダケニシテ、全體盡ク此逐條讀ム云フ様ナコトハ御省キニナツタラドウダラウカト思ヒマスガ、マア御相談ヲ致シテ置キタイト思ヒマス

○富田鐵之助君 此衆議院デ修正ニナツタ所ヲマア先ニ固メタイノデアリマスガ、是ハ政府ノ方デハ之ニ御同意ニナツタノカ、ナラナイノカ、之ニ御同意スルカ同意ヒヌカト云フコトヲ一ツ御説明ヲ請ウテ置キタイ

○政府委員(岡野敬次郎君) 衆議院デ修正ニナリマシタ點ハ第一條ノ第五號、デ是ハ衆議院ノ其修正ノ理由ト云フモノガ産業組合法ノ骨子ハ即チ其如何ナル種類ガ組合ト認メルノデアリカ、何ヲ目的ニシテ設立スルノカ、組合ト認メルノハ何デアリカト云フコトガ大體ノ根據デアアル、デ其趣旨ダケ此所ニ舉ゲテ他ハ勅令ニ讓ルト云フコトハ甚ダ穩當ヲ缺イテ居ル、ソレデモウ一ツ其事業ノ目的トスル組合ヲ必要ト認メルナラバ其時ニ至ツテ法律ヲ以テ増加スルト云フコトニシテ宜シイノデアアル、勅令ニ讓ルノハ甚ダ不穩當デアアル、ト云フ理由デ削除ニナツタデアリマス、而シテ前ノ此第一條ノ一二三四ニ掲ゲタ所ノモノハ先ヅ組合ノ重モナモノデアリマス、他ハ現在性質ノ甚ダ不明ノ組合デアリマスケレドモ、殖林組合ト云フ様ナモノガ矢張り群馬縣アタリニアル様デアリマス、是ハマダ其十分發達シテハ居リマセヌガ、或ハ將來發達スル見込ノ有ルモノモアルノデゴザイマス、又其北海道ニハ尙ホ一層他ノ種類ノ組合ノ必要ガ有ルノデアリマシテ、北海道ニハ特別ノ組合トシテ設ケヤウト云フ様ナモノ、飼畜組合、畜類ヲ飼フ組合、土工組合、除害組合、害蟲其他ノ害ヲ除クト云フ目的ノ組合ト云フヤウナノガ北海道ハ必要デアルト云フコトデアリマス、是等ノモノヲ其勅令ニ讓リタイト云フ趣旨デ、此文ヲ加ヘタノハ矢張り必要デアリマスカラ此五號ノ削除ニ付テハ同意ヲ致シテ居ラヌノデアリマス、ツレカラ次ハ第六條ノ一項二項ニ換ヘルニ産業組合ニハ所得稅及營業稅ヲ課セスト云フコトニ改メタルデアリマス、ソレハ先ヅ同意致シタルデアリマス、元來六條ノ二項ニ付イテハ先刻都筑君カラモ御尋ネガアリマシタガ二項ヲ設ケマシタ主意ハ信用組合ニシテモ購買組合ニシテモ生産組合ニシテモ組合員ノ或ル行爲ヲナスト云フコトガ目的デアアル、併シナガラ販賣組合

デアッテ、或ハ組合ノ目的トシテ、組合員ノ間ニ於テ賣ルモノモアル、或ハ又組合員ニアラザルモノニ賣ルノモアル、ツレデ組合員ニアラザル者ニ廣ク販賣スルト云フコトニナツタラ稍々商事會社ト同ジ性質ノモノデアラカラシテ、是ニハ營業稅ヲ課スルノガ穩當デアルト云フノ理由カラ此六條ノ第二項ハ設ケラレタルデアリマス、例ヘバ購買組合ノ如キハ購買スル時分ニハ無論組合ニアラザル第三者カラ買フノデアアル、主タル目的ハ組合員ニ賣却スルノデアアル、販賣モ矢張り是同ジコトデアッテ賣却スルニハ第三者組合員ニアラザルモノガ相手デアリマスケレドモ、併ナガラ其賣却スル所ノ目的物ハ組合員ノ生産シタル物ヲ賣ルノデアアル、ソレデアラカラシテ矢張り販賣組合モ購買組合モ組合員ノ利益ヲ圖ルト云フ主タル目的ハ同ジコトデ、唯購買組合ニアッテハ他カラ買フ、販賣組合ニアッテハ他ニ賣ルト云フ違ヒハアルケレドモ、組合ノ主タル目的ノ性質ニ於テハ更ニ異ナル所ハナイト云フ論ハ誠ニ御尤ナル論デアッテ、其修正意見ニ對シテハ反對ノ理由ヲ述ベルコトガ出來ナカッタノデアリマス、ツレカラ次ハ本案第三十二條、三十二條第一項ヲ加ヘタルデアリマス、是ハ民法ノ第六十一條ノ二項ハドウ云フ事デアアルカト申シマス、二項ハ「總社員ノ五分ノ一以上ヨリ會議ノ目的タル事項ヲ示シ請求ヲ爲シタル時ハ理事ハ臨時總會ヲ召集スルコトヲ要ス」ト云フノガ六十一條ノ第二項ノ規定デアアル、是ニ代ルベキモノハ本案ノ第二十三條ニアルノデアリマス、此六十一條ノ全部ヲ準用スルノハ重複スル、一項ダケヲ準用スレバ宜イト云フコトデアリマス、是モ其通リノ事柄デアラカラ全然贊成シタルデアリマス

○都筑馨六君 是ハ今ノ保險業ノ方ハ公衆ト營業スルト云フコトハ組合ノ性質ニ相反スルト云フ理由ヲ以テ先日議場ノ方デ削ラレタルデアアル、ツレノアルニモ拘ラズ、此組合法ハソレヲ許スト云フノハ何ゾ強イ理由ガアリマスノデスカ

○政府委員(岡野敬次郎君) 購買組合ノ如キ又販賣組合ノ如キハ他カラ購買スルカ、或ハ他ニ販賣セネバ組合ノ目的ヲ達スルコトハ出來ヌノデアリマス、組合ト云フモノヲシテ其目的ヲ達セシムルニハ賣却、購買ノ如キハ是非シナケレバナラヌ、ツレヨリ強イ理由ハナカラウト思ヒマス

○小幡篤次郎君 此株式組織デ成立ッテ居マスモノモ申サバ組合員デアアル、組合ノ事ハ人數ガ少イカ多イカノ相違デアアル、株式組織デ成立ッタルモノハ矢張り組合員ト見ル、其組合員ノ爲ニ利益ヲ圖ルト云フコトデ、矢張り營業ヲシナイデ宜イト云フヤウナ理窟ニナリサウニ考ヘラレル、他ニ販賣スルト云フコトハ營業稅ハドウカシナケレバナラヌト思ヒマス、此間否決シタルト同ジ理窟ニナリサウニ思フ

○政府委員(岡野敬次郎君) 御答ヲ致シマス、先日保險法デ三條ヲ削除サレマシタガ、先日ノハ營業稅ト無論關係シテ居リマシタラウト思ヒマス、併シ元來ノ理由ハ相互會社ニアツテ社員ニアラザル者ト保險契約ヲナスト云フコトガ、相互會社ノ性質ニ反スルコトデアラウト云フノガ重ナル理由デ三條ハ削除セラレマシタ、アノ削除説ガ少數ヲ消滅シタナラバ或ハ營業稅ノ問題ガ再ビ起ツタカモ知レナイ、アノ削除ニナリマシタ理由ハ内側ニアツテハ營業稅ニ密接ノ關係ヲ持ツテ居ッタラウト思ヒマス、其理由トスル所ハ相互ハ相互、株式ハ株式デ全ク別ノモノニシナケレバナラヌト云フ理由カラ削除ニナッタラウト心得テ居リマス、此產業組合ニ於キマシテモ信用組合ニ致シテモ矢張り此組合員ニ資金ヲ貸付スルト云フコトニ付テハ無論或ハ農工銀行ナリ其他ノ銀行カラ低利ノ資金ヲ先ヅ第一ニ求メテ來ナケレバナラヌ、ソレデ運轉資本ハ矢張り他カラ持ツテ來ルノデアリマスカラ、其資本ヲ用フルニ付テハ無論第三者ト取引ヲシナケレバナラヌ、又購買組合ニ於キマシテモ矢張り他カラ買ハネバナラヌ、組合ニ賣却スルコトハ得ナイノデアリマスカラ、是亦矢張り第三者ト取引ヲシナケレバナラヌ、其第三者ト取引ヲスルト云フコトヲ禁ゼラレマシタ時ハ信用組合、又購買組合モ事實ニ於テ決シテ其目的ヲ達スルコトハ得ナイノデアラウト信ズルノデアリマス、ソコデ獨リ販賣組合ト云フモノガ或ハ購買組合ト云フモノト其性質ヲ異ニシテ居ルモノデハナカラウカト云フノ御疑デアリマシレバ是ハ固ヨリ產業組合ニ於テ他カラ買ッテ來テ、他カラ買ッテ來タモノヲ他ニ販賣スルト云フコトデアリマシレバ是ハ無論商會社ト少シモ違ハヌノデアリマス、唯此產業組合ノ一種、唯販賣組合ガ商會社ト異ナル所ハ、組合員ノ生産シタ物ダケヲ賣ルト云フコトヲ目的トスルト云フノガ特色デアル、組合員ニアラザルモノカラ買ッテ他ニ賣ルト云フコトデナクシテ、組合員ノ生産シタ物ヲ賣却ノ目的トスル、其結果ハ組合員ノ利益ヲ圖リ組合員ヲ貯金ヲスルト云フコトガ目的デアリマスカラ、ソレデ購買組合ニ於テモ組合ノ賣却スル所ノ主タル目的ハ販賣デアツテ組合員ニ物ヲ賣ルト云フノガ目的デアル、其賣ルニ付テ他ニ賣ラネバ組合ノ目的ヲ達スルコトハ出來ヌト云フコトハナイ、組合員ノ利益ヲ圖リ、組合員ノ經濟ヲ圖ルト云フ點カラ論シマスレバ組合員ヘ販賣スルト少シモ違ハヌト信ジテ居リマス

○都筑馨六君 サウスルト六條ノ二項ニアル營業ト云フハ取引ト云フコトニ取レバ宜イノデスカ、チヨット營業ト書イテアリマス販賣組合員ニ販賣スルノミナラズ組合外ノ人ノ爲ニモ矢張り營業者トナツテ販賣スルカノ如クニ見エラデスガ、サウスルト意味デナイト云フコトニナルト六條二項ノ營業ハ取引ノコトヲ指シタモノ、斯ウ云フ解釋ニナルノデアリマスカ

○政府委員(岡野敬次郎君) 此六條第二項ノ主意ハ實ハ内輪ニアリマシテハ餘程議論ヲシタ、議論ノ結果第二項ガ加ハッタノデアリマスカ、主意ハ其販賣組合ニ限ッテ此六條第二項ノ規定ヲ適用スルト云フ主意デアツテ、サウシ

テ組合員ノモノヲ賣ルニハ違ヒナイガ、併ナガラ相手ハ誰カト云フト一般公衆デアル、ソレデアルカラ商會社ト稱、類似ノ事業ヲ爲スモノデアルカラ是ニハ營業稅ヲ課セバナラヌト云フ論カラ此二項ガ加ハッタノデアリマス

○都筑馨六君 ソレハ分ツテ居リマス、此營業ト云フ字ハ取引ト云フ方ノ意味デアル、營業ハ其組合員ノ爲ニヤルノガ營業デアル、賣ルト云フ方ハ營業デナイ、販賣組合ノ……組合員ノ爲ニ賣ルノガ初メテ營業デアルカラ、賣ルト云フ行爲バカリデハマダ營業ニナラヌノデスカ

○政府委員(岡野敬次郎君) 無論ハ公然世ノ中ノ人ヲ相手ニ取引スル意味デアルノデアリマス

○富田鐵之助君 小幡君カラ御尋ニナツテマダ私ハ政府委員ノ御答辯ガ胸ニ落チナイコトガアリマスガ、此販賣組合ガ組合員デ手ヲ加ヘタ、加工シタモノヲ組合員ノ外ニ賣ルト云フコトハ成ルホド利益ノ増殖スルト云フコトニ付テハソレハ已ムヲ得ナイト考ヘルガ、詰リソコニ論ノ起ルノト云フモノハ所得稅營業稅ガ掛ルカ掛ラヌカト云フコトガ其論ノ岐ル所ト思フ、例ヘテ云ヘバ印刷局デ紙ヲ製シテサウシテ他ニ販賣スルト云フコトニナルト始終紙屋ガヤカマシイ、サウヤラレテハナラヌト云フテヤカマシク騒イデ居ル、ナゼサウダラウト云フト其家屋ニ稅モ掛ラズ其工場ニモ稅ガ掛ラズ所得稅モ營業稅モ掛ラヌカラヤカマシク言フ、ソレガ掛ッテ當リ前ニシテ行ケバヤカマシク言ハレル道理ガ無い、是モ同ジコトニソコニナツテ來ルト他ノ營業ノ者ヲ害スル恐レガソレカラ生ジテ來ハシマイカト思フ、ドウシテモ所得稅トカ營業稅トカハ安ク賣レル、其點ヲ今少シ御説明ヲ請ハナイト分リ兼マスガ、是ハ印刷局ノヤウナコトバカリデナク、監獄署デ指ヘタ物ヲ賣ッタリスルモノデアルカラヤカマシク言ヒ出ス、ナゼト云フト同ジ入費ガ掛リ同ジ元ヲ入レテサウシテアトノ勞力ノ便不便デ物ガ安クナルトカ、高クナルト云フコトハ差支ナイガ、特種ノ免稅ノモノガアッタリ何カスルトソレダケドウシテモ安ク賣ル、サウシテ營業ヲスル者ノ大變害ニナル、其點ヲ今少シ御説明ヲ願ヒタイ

○政府委員(岡野敬次郎君) 此販賣組合ノ實例カラ申上ゲマスレバ重ナルモノハ生絲デゴザイマス、群馬縣ニアリマス生絲ノ販賣ヲ目的トシテ居ル者ガ多イノデ、確氷社甘樂社ト云フモノガ最モ著シキモノデ、是ガ今日一向法律ノ支配ヲ受ケテ居リマセヌ、唯組合員ガ一人一人デ賣込デハ或ハ生絲ノ摘ハヌ、或ハ又十分ニ取引ナドノ便宜ガナイト云フノデ組合組織ヲ以テ其組合員ノ製作シタモノヲ一手ニ集メテ横濱ヘ持ッテ行ッテ賣込ムト云フコトヲシテ居ル、此組合員ガ今日ノ所デハ所得稅モ課セラレテ居リマセヌシ、又營業稅モ課セラレテ居ラヌ、デ營業稅ノ課稅ニ付テハ色々議論ガアリマシタケレドモ、詰リ營業稅ヲ課スルト云フコトデハ其組合ガ成立タヌト云フヤウナ理由デ今日ハ總テ營業稅ヲ免レテ居ルノデアリマス、實例ガ左様デアリマスカラ矢張り此營業稅ヲ課セヌト云フ方ガ穩當デアラウカト思ヒマス、富田サンノ御話ノ通りニ營業稅ヲ課セヌト云フコトデアリマスレバ營業者ト竝ンデ此販賣

ヲ目的トスル上ニ於テハ營業稅ヲ課セラレヌ者ノ方ガ無論利益デアアルニ相違
ナイ、併ナガラ元々此產業組合ト云フモノヲ認メルノ理由カラ申シマスレバ
中産以下ノモノノ利益ヲ保護スルノデアアツテ、之ヲシテ團結シテ互ニ利益ヲ
謀ルト云フコトガ目的トナツテ此實例ヲ認メタルデアアルカラ、普通ノ商事會
社ト違フテ其組合員ガ營業稅ノ如キ稅ヲ免ルト云フ爲ニ利益ヲ受ケルト云
フコトノ目的デアアルノデ、無論實際ノ結果ニ於テ此營業組合ガ普通ノ商事會
社ニ比較シテ利益ヲ受ケルコトハ是ハ免ルベカラザルコトデアアル、ソレガ又
一ツノ理由デ此產業組合ヲ認メルノデアアリマス、此販賣組合ト云フモノハ此
商法ト實ハ關係シテ居ルノデアアリマスガ、如何ナル會社ヲ以テ商事會社トス
ルカト云フコトハ隨分議論ノアル點デアリマセウガ、此日本商法ニ於テハ自
己ガ生産シタルモノヲ他ニ賣ルコトハ是ハ商事會社ト認メテ居ラヌ

○富田鐵之助君 己レノ作ツタ米ヲ賣ルノハ……

○政府委員(岡野敬次郎君) 或ハ百姓ノ如キ鑛山ノ如キハ商事會社デアリマ
セヌ、動モスルト商事會社ト混同スル恐レガアルト云フ懸念モアリマスガ、

併シ是ハ無論其組合ノ目的ヲ遂グル上ニ於テ法律ノ規定ニ從ハナケレバナラ
ヌコトハ當然ノコトデアリマシテ、若シ他カラ買ツテ來タモノヲ他ニ賣ルト
云フコトハ此產業組合ノ目的ニ反スルカラ嚴禁シナケレバナラヌ、併シ組合
員ノ生産シタルモノニ限ツテ賣ルノデ、ソレデ課稅免除ノ爲ニ利益ヲ直接ニ受
クルノハ法人デアリマスガ、矢張り組合員モ間接ニ其利益ヲ受ケサセルコト
ガ一ツ產業組合ヲ認メル大ナル理由デアリマスカラ、商事會社ト競争上多少
ノ利益ヲ受ケルト云フコトハ是ハ當然ノコト心得テ居ルノデアアリマス

○富田鐵之助君 今御説明ノ如キ絲トカ何トカ云フ特種ノモノハソレ程ノコ
トハナイケレドモ、斯ウ云フコトニナツテ參リマシタナラバ種々ノ弊ガ生ジ
マス、何カラ生ズルト云フコトハ豫メ御話ハ出來ナイガ、或ル一種ノ生絲ノ
如キ自然ト組合ガ成立ツテ來テ居ルモノハ宜イガ、斯ウ云フ法律ガ出來タラ
又様々ノモノガ生ジテ來テ商事會社ヲ害スル様ニナリハシマセヌカ、御説明
デハ組合員ノ生産シタル物ニ限ルト云フ様ナ御話デアリマシタガ、實際ハ多少
外カラ原料ヲ買入レナクテハナラヌ様ナコトガ生ズルデアラウト思ヒマスガ

○政府委員(岡野敬次郎君) 商事會社ハ無論營利ヲ目的トシテ居ルモノデア
リマスガ、產業組合ノ目的カラ申スト實ハ組合員ノ出資一口ノ金額ト云フモ
ノハ極ク小ナモノデアアル、ソレカラ如何ナル資本家ガ加ハリマシタ所デ第十
七條ノ規定ニ依ツテ「組合員ノ有スヘキ出資口數ハ十口ヲ超ユルコトヲ得ス」
トナツテ居テ、一人デ十口以上ヲ持ツコトヲ禁ジテアリマス、ソレカラ此利益
ノ剩餘金ノ分配ニ付キマシテ第四十四條第二項ニ「組合員ノ持分ニ對スル剩
餘金分配ニ關スル制限ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム」ト云フ規定ガアリマシテ、是ハ
時々色々金利ヤ何カノ模様ニ依ツテ變リマスカラ法律ニキチント書イテ置ク
コトハ或ハ窮窟ニ過ギルデアラウト云フコトデ是ハ命令デ定メルコトニ致シ
マシタガ、詰リ財產ヲ餘計出シテ居ルカラ必ズ餘計分配ニ與カルト云フコト

ハ出來ヌノデアリマス、又第四十二條ニ於キマシテモ「組合員カ其ノ出資拂込
ヲ終ル迄ハ之ニ配當スヘキ剩餘金ハ其ノ拂込ニ充ツヘシ」ト云フコトガアル
ノデ此分配ハ成ルベク制限スル方ノ主義ヲ取ツテ居ルノデアリマス、ソレデア
リマスカラ資本ヲ澤山出シテ商事會社トヒドク競争スルト云フコトハ事實ニ
於テ營利ヲ目的トスル人ナラバ到底出來ナイコトデアアラウト思フ、ソレデ無
論其組合ノ生産シタル物ニ限ツテ賣却スルノデアリマスガ、此「組合員ノ生
産シタル」ト云フコトハドレダケノ程度ニ解釋スルカ、ソレハ問題デアリマ
スガ、併ナガラ詰リ組合員ガ主トシテ勞力ヲ加ヘテ生産シタル物デナケレバ
ラヌノデアリマスカラ、無論或ハ其原料ノ如キモノハ他カラ買フト云フコト
ハナケレバナラヌノデアリマスガ、今申ス様ナ窮窟ナ制限ガ設ケテアリマス
カラ御話ノ様ナ弊害ノ起ル虞ハアルマイト思ヒマス

○都筑馨六君 念ノ爲御尋シマスガ販賣組合ガ組合員ノ物ヲ販賣スルニ限ッ
テ他ノ者カラ委託ヲ受ケテスルコトハナラヌ、又購買組合モサウデアルト云
フノデスカ

○政府委員(岡野敬次郎君) 無論サウデス

○政府委員(藤田四郎君) 尙ホ申シテ置キマスガ普通營業稅デ幾ラノ竈ヲ
持ツテ幾ラ製出スルモノハ何程ト云フ營業稅ヲ銘々課セラレテ居ルノデスカ
ラ、唯ソレヲ纏メテ賣ルト云フダケデアリマスカラ今ノ何ガ掛カルト二重ニ
掛ケル譯ニナリマスカラ一昨年掛ケヌコトニナリマシタノデアリマス

○都筑馨六君 剩餘金ノ分配ト云フノハ免ニ角其持口ニ應ジテ分配スルト云
フ様ナコトデ其制限ヲ命令デ定メル譯デアナイノデアリマスカ

○政府委員(岡野敬次郎君) サウ云フ主意デアアリマセヌ、一例ヲ申スト消
費組合ノ如キ即チ購買組合ノ一種デスカ、是ハ產業組合ニ於テ組合員ガ買フ
ト云フトキニ世間ノ直段ヨリモ非常ニ安く組合ガ實費ヲ償フダケノ價格ヲ以
テ賣ツテハ貯蓄ニモ何ニモナラヌ、ソレデアリマスカラ多少世間ヨリ安イト
シテモ實費ヲ償フヨリハ幾ラカ高イトニシナケレバナラヌ、サウシテ其餘
ガ出マスカラ其剩餘ハ貯蓄シテ組合ノ財產トスルコトニナル、使用組合ノ如
キモノデモ同ジコトデ、之ヲ以テ實費ヲ償フニ足ルダケノ使用料ヲ拂フノデ
ナクシテ多少餘計ノモノヲ拂フ、其餘計ナ分ガ剩餘ニナル、ソコデ英吉利ノ
消費組合ノ如キハ其消費シタル高ニ依ツテ分配シテ居ル、買ッタ人ガ餘計買ヘ
バ買フホド多ク組合ニ剩餘金ヲ生セシメル、餘計使用スレバ餘計使用料ガ組
合ニ剩ルノデアアルカラ、持分ト云フヨリハ寧ろ消費シタル高或ハ使用シタル使用
料ノ高ニ依ツテ剩餘金ヲ分配スルノガ穩當デアルト云フ位ナモノデアリマス
カラ、決シテ原則ガ持分ニ對シテ分配スルト云フ主義ヲ取ツテ居ルノデア
アリマセヌ

○都筑馨六君 持口ト持分ハ違フノデアリマセウカ

○政府委員(岡野敬次郎君) 是ハ持口ト云フモノガ即チ例ヘバ出資一口ガ十
圓ナラ十圓デ百人寄ツテ銘々十圓ヅ、出シテ組合ヲ拵ヘル、所デ組合ノ成績

ガ好ケレバ一口ノ金高ハ十圓デアアルケレドモ持分ト云フモノハ或ハ十五圓ニモ二十圓ニモナリ得ルコトガアル、ソレカラ下手ニマツク往ツテ失敗シタトキニハ一口十圓ノモノデモ實際五圓カ三圓ニ下ルコトガアリマス、ソレデ出資一口ト云フモノト持分トハ違ヒマス

○都筑馨六君 一口ニ對スル持分ト云フモノハ始終比例ハ保ツテ行クノデアリマセウナ、各人ニ依ツテ違フト云フコトデハワカシイデアリマセウ

○政府委員(岡野敬次郎君) ソレハ第九條ノ第七號ニ「剩餘金及損失分配ニ關スル規定」ト云フコトガアリマス、其剩餘金ヲ分配スルノニ先刻述ベタ例ノ如ク或ル標準ニ依ツテ剩餘金ヲ分配スル、或ハ半分ハ消費高又ハ使用高ニ依ツテ分配シ半分ハ持口ニ依ツテ分配スルト云フコトモアル、ソレヲ分配シテ行クト云フト其剩餘金ノ分配ノ加ハタモノダケガ持分ニナルノデス

○政府委員(岡野敬次郎君) 是ハ法律ニ金高ハ規定シテアリマセヌ、或ハ其地方ノ狀況ニ依リ或ハ組合ノ目的ニ依ツテ色々變ラウト思ヒマスカラ、ソコデ九條ノ第五號ニ出資一口ノ金額ハ必ズ定款ニ書ケト云フコトニ致シテ其事情ニ應ジテ或ル組合ニ於テハ五圓ノモノモアリマセウ、又或ル組合ニ於テハ十圓ト云フヤウナモノモアラウ

○小幡篤次郎君 百圓ト云フヤウナノハ……

○政府委員(岡野敬次郎君) ソレハ法律ハ禁ジマセヌガ併シ實際其產業組合ノ必要ヲ認メルノハ出資一口ノ金額ガ百圓ト云フヤウナ場合ハ多分ナカラウ

○都筑馨六君 サウスルト十人寄レバ十人持分ハ違フト云フコトガ出來マスナ、ソレハ大分弊ガ起リハシマセヌカ

○小幡篤次郎君 多分ナカラウト云フノハ全體ニサウ云フタシトノ出資ヲ御禁制ナサルト云フ考デスカ、又ハ自然的ニサウ云フモノハ持ツテ來ナイト云フノデアリマス

○政府委員(岡野敬次郎君) 若シ出シタ金額ニ依ツテ分配スルト一口ニ付テ持分ハ各々同シデアリマス、十口持ツテ居ル人ト一口持ツテ居ル人トハ勿論違ヒマスガ、一口トシテハ同ジニナリマス、所ガサウ云フ其分配ノ方法モ一ツノ方法ニハ違ヒナイガ、併シ御話シタ例ノヤウニ餘計使ヘバ餘計組合ニ利益ヲ與ヘテ居ル餘計買ヘバ餘計組合ノ財產ヲ殖シテ居ルト云フコトハ場合ニ依ツテハ正シカラウト思ヒマスカラ、其場合ニハ餘計使ツタ人ニ多少餘計剩餘金ヲ分配シテヤラネバナラヌ、サウスルト持分ガ個人ニ依ツテ違ツテ來ル

○政府委員(岡野敬次郎君) 事實カラ申シマシテモ詰リ小民ノ方ヲ保護スルノガ目的デアリマシテ、一口ノ金額ヲ百圓トスルト云フコトハ實際ニ於テナカラウト思ヒマス、ソレデ出資一口ノ金額ヲソレナラバ百圓ト定メタ場合ニ許スカ許サヌカト云フ、御尋ナラバ、此金額ニ就テハ色々ナ事情ニ依ツテ變リマスカラ、ソレデケマデナラバ許ス、ドレデケ以上ナラバ許サヌコトガ出來ヌト云フコトヲ此處デシツカリ御答申スコトハ出來マセヌガ、併ナガラ出資一口ノ金額百圓ト云フヤウナモノハ私ハ許スベキモノデナカラウト思フ

○都筑馨六君 御主意ハ至極結構デ私ハ至極賛成スルデスカ、實際ニ於テ大丈夫デゴザイマス、弱者ガ壓セラレル、持分ヲ餘計持シテ居ル奴ガドウシテモ少イ奴ヲ壓スルトカ云フ弊ガアル、又素捷シコイ奴ハ持分ヲドウナリスウナリ餘計……口ハ同ジデアリナガラ弱者ヲ壓スルト云フ弊ハナイノデアリマス

○都筑馨六君 此營業ヲ創メルニハ幾ラ拂込ヲシタ後トアリマセヌガ、始メカラ一文ナシテ借金ヲシテ行クモノヲ、一文ナシノ時分カラ御許シナサルノデスカ

○政府委員(岡野敬次郎君) 元來產業組合ハ都筑サンノ御議論ノ如キ資本的ノ弊ハ制限スル積リデアリマス、資本ノ跋扈ハ無論產業組合ニテ相當ノ範圍ニ制限シナクテハナラヌ、ソレデ先刻富田サンノ御質問ニ對シテ御答シタヤウナ譯デ、色々ナ箇條ヲ以テ制限ヲ加ヘテ居ル、ソレデ此產業組合ノ設立ニ就キマシテハ定款ヲ出シテ其定款ノ認可ヲ請ウテ初メテ設立アルコトヲ得ルノデアリマス、ソコデ其九條ノ第七項ニ於テ分配ニ關スル規定ハ是非定款ニ設ケナケレバナラヌカラ、ソコデ或ハ資本ノ此元素ガ大ニ増スト云フヤウナコトデアレバ無論ソレハ認可セヌノデアリマス、又議決權ニ至ツテモ出資ノ如何ニ依ラズ必ズ一ツデナケレバナラヌ、又定款ノ變更モ認可ヲ經ナケレバナラヌコトニナリマスカラ、ソレデ認可或ハ法律ニ規定シテアル制限ヲ以テ資本ノ跋扈ト云フコトハ充分防ギ得ルト思ヒマス

○政府委員(岡野敬次郎君) 例ヘバ信用組合ノ如キモノヲ一例トスレバ設立ノ登記ヲセヌ中ニ農工銀行カラ金ヲ借リルト云フコトハ出來マセヌシ、又ヤラウト思ツテモ貸サヌト思ヒマス、ソレデ設立ノ登記ト云フモノヲシタ後ニ始メテ組合タルコトヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ルノデアリマス、即チ外ノ言葉デ申セバ組合員ガ第一回ノ拂込ヲ終ラヌ中ハ登記ハ出來ヌ、登記ガ出來ネバ外ニ對シテ產業組合ガ金ヲ借リルト云フコトガ出來ナイ

○小幡篤次郎君 此一口ノ金高ト申スモノハ制限ガアリマスカナノコトデ

○小幡篤次郎君 實際サウ云フ組合ノヤウナモノガ他カラ借用致シマスル凡

ソノ利息ハドンナコトガ行ハレテ居リマスカ御調デモアリマスカ

○政府委員(岡野敬次郎君) 實例ニ就キマシテハドノ位ノ利息デ組合ガ金ヲ借りテ居ルカト云フコトハ申上ゲルコトハ出來マセヌ、其調ハアリマセヌ、又今日ノ組織ノ性質極メテ不明ナ組合ニアリマシテハ信用ヲシテ金ヲ貸スト云フコトハ多分出來マイト思フ、今度ハ農工銀行法ヲ改正致シマシテ農工銀行カラ此產業組合ニ金ヲ貸スト云フ途ヲ開イタノデアリマス、其方カラ多少ノ資本ノ融通ハ出來ヤウト思ヒマス

○富田鐵之助君 ハッキリ記應シテ居リマセヌガ此組合員ト云フモノガ、其村內ニ住居シテ居ルモノデナケレバナラヌト云フヤウナ制限ダト云フ御答辯デアリマシタガ、ドコニアルカ見付カリマセヌガ……

○政府委員(岡野敬次郎君) 此法案ニ於キマシテハ此制限ハ法律ニハ設ケテアリマセヌ、唯第九條ノ第九號ニ組合員タル資格ニ關スル規定ト云フノデ、此中ニ御話ノアリマシタヤウナ區域ヲ限ル必要ノアルモノ、又組合員ニ於テ區域ヲ限ラネバナラヌト云フノハ必ズ定款ニ設ケサセルコトニナツテ居リマス、ソレデ此消費組合ノ如キモノハ外國ノ例ナドヲ調ベテ見マシテモ非常ナ廣イモノデアリマシテ、トント區域ノ制限ヲ設ケテ居ルモノハナイノデアリマス、併ナガラ信用組合ハ既ニ九條ノ第二項ニ信用組合ノ區域ハ市町村ノ區域以內ニ於テ之ヲ定メルタル、此外ニ法律上ノ制限モゴザイマス、他ノハ詰リ事實上購買組合ノ如キ或ハ生産組合ノ如キモノハ必ズ地方的ノ制限ガ自カラ出來ナケレバナラヌト思フ

○都筑馨六君 其地方的ノ制限デチョット思出シタガ、町村ノ區域ハ宜ウゴザイマセウガ、市ト云フモノニハ隨分大キナモノガゴザイマスガ……

○政府委員(岡野敬次郎君) 成程市ニハ大小色々違ッテ居リマスガ甚シイ違ヒハゴザイマス、ドウモ細カク例ヘバ人口ガ幾ラトカ面積ガ幾ラトカ云フノデ區別ヲスルコトハ事實出來マセヌカラ、ソレデ已ムヲ得ズ市ニ大小ハ無論ゴザイマスケレドモ……

○富田鐵之助君 サウシタ所デ此特別ノ事情アルモノハ地方長官ノ認可ヲ得テ其區域ニ依ラザルコトガ出來ルト云フコトガアルガ其特別ノ事情ト云フノハドウ云フノデスカ

○政府委員(岡野敬次郎君) 是ハ場合ニ依リマシテ或ハ一村デ是非信用組合ヲ設立シタイト云フ時ニ、或ハ組合員數ガ甚ダ少イト云フノデ、折角立デモ目的ヲ達スルコトノ發達ヲシ得ナイト云フ場合モアラウ、又金ヲ出スモノモ先ツ非常ニ貧乏人ガ多イト云フ場合、ソレデ折角集メタ所デ僅シカ集マラヌト云フ時ハ他カラモ信用ト云フモノハ受ケマセヌ、即チ農工銀行カラ金ヲ借りヤウトシテモアナン貧乏人ガ拵ヘタモノダカラ例ヘ無限責任ノ負擔ヲシタト云ウテモ當ニナラヌカラ貸サヌト云フコトナドガアリマスカラ、サウ云フヤウナ場合ニハ是ハ二村合併シテ一ツノ信用組合ヲ立テルト云フコトガアラウ、併シ其區域ヲ制限スルト云フコトガ原則ニナツテ居リマスカラ、如何ニ

特別ノ事情アリト雖モ之ヲ非常ニ擴メテ區域ヲ倍ニスルト云フコトハ無論認可ハセヌ考デアリマス

○富田鐵之助君 サウスルト信用組合ノ外ハ此區域ハ限ラレナイノデアアルカラ他府縣ノ人デモ構ハナイノデアリマスナ

○政府委員(岡野敬次郎君) 法律上ハ差支ナイノデアリマス、併シ其組合ノ目的ニ依リマシテハ購買組合ノ一種タル消費組合ノ如キモノハ隨分區域ガ廣クテモ行ハレヤウト思ヒマス、使用組合ノ如キハ實際其邊ニ住居シテ居ルモノデナケレバ事實出來マセヌト考ヘマス

○富田鐵之助君 購買トカ何トカ云フモノハ例ヘバ其地方デノ同業同志ノモノノミデ他府縣ノモノハソレニ據ルコトガ出來ヌト云フコトニナルト大變狹イモノニナル、サウスルト信用組合ノ區域ハ出來テハ居ルケレドモ無イト云フデモ宜イヤウナ譯ニナル……

○委員長(子爵谷干城君) チョット御尋シマスガ、私共矢張り百姓主義デアノ肥料デスガ、肥料組合ノヤウナモノヲ拵ヘテ見タイ考デアルガ、是ハ產業組合ノ中デ出來ルノデスカ、私ノ云フノハ買フノデス、仲間デ買ウテ之ヲ仲間同志デ使フ

○政府委員(岡野敬次郎君) ソレハ此產業ニ必要ナルモノヲ購買シテ之ヲ組合員ニ賣却スルト云フコトガアル、之デ行ケマス

○都筑馨六君 此持分ノ讓受人ハ其持分ニ付テ讓渡人ノ權利義務ヲ承繼ストアル、此持口ト持分ト離レテ居ルノハドンナ工合ニナルノデスカ

○政府委員(岡野敬次郎君) 持口出資一口ト云フノ持分ト云フノハ先刻モ述ベマシタ通り持口ト云フハ確定シテ居ル、少クトモ表面上ニハ確定シテ居ルモノデス

○都筑馨六君 十七條ニ組合員ハ出資一口以上ヲ有スベシトアツテ、十九條ノ二項ニ組合員ニアラザルモノニシテ持分ヲ讓受ケムトスルトキハ加入ノ例ニ依ルベシトアル、サウシテ二十二條ニ新ニ組合員加入シタル組合員ハ其ノ加入前ニ生ジタル組合ノ債務ニ付テモ亦責任ヲ負擔ストアル、是ハ折角持口ヲ十圓ト極メタト云フノガツレガ持分ガ十九圓ノモノヲ讓受ケタ時ニハ十九圓ノモノガ持口ヲ持ッテ居ル結果ヲ生ジハシナイカト思フ

○政府委員(岡野敬次郎君) 御答致シマスガ持口ト云フノハアリマセヌガ……詰リ持口デアツテ最初カラ確定シテ居ルモノデ、ソコデ其持口ト云フモノハ組合ノ財産ニ依ッテ變動ガアル、其變動ガアルモノヲ言現ハス時ハ即チ持分デアリマス、即チ持分ヲ讓受ケル時ハ持口モ共ニ讓ル譯ニハイカヌ

○都筑馨六君 サウスルト先刻ノ御答トハ少シコマツテ來ハシマセヌカト思フ、持口ガ十圓ナラバ持分モ……例ヘバ私ト小幡サンガ十圓宛ノ持口ヲ持ッテ居ッテモ、持分ハ小幡サンガ十八圓デ私ガ十五圓ノ場合ガアルカモ知レヌ、サウ云フ場合ニ十五圓ヲ讓受ケテ來タモノハ十五圓ト……所謂持口ガ減ッタカ殖エタカシタモノヲ合セタモノヲ持ッテ這入ッテ來タノダカラ十五

圓ダケノ權利ガアルカラ、持口十圓デアアルノ二十五圓ト云フ結果ヲ生ジテ來ハシマセヌカ

○政府委員(岡野敬次郎君) 是レハ詰リ例ヘバアナタト私ト十圓宛出ス、ソレデ二十圓ヲ動カシテ是ガ三十圓ニ殖エタ、サウシテソレヲアナタト私ノ間ニ平分スレバアナタト私ハ十五圓宛ノ持分ニナル、持分ト云フモノハ詰リ持口ノ變動スル有様ヲ現ハシテ居ル言葉デス

○都筑馨六君 ソレデ持分ニハ等差ガ出來ルノデセウ

○政府委員(岡野敬次郎君) 御答致シマスガ剩餘金分配ノ方法ニ依ッテ持分ガ變ル、アナタモ十圓出シ私モ十圓出シテモ……アナタノハ十五圓私ノハ十二圓ト云フコトニナル、今度此持分ニ依ッテ剩餘金ヲ分配スルトアナタガ十八圓トナッテ私ガ十三圓ニナル、サウシテ私ノ持分ガ十三圓アナタガ十八圓……○都筑馨六君 サウスルト持口ヲ均一ニスベシト云フコトハ唯拂込ノ責任ダケノ爲ノ簡條デアアルノデスネ

○政府委員(岡野敬次郎君) 御話ノガハ第十一條ノ出資一口ノ金額ハ均一ニ定ムベシト云フ簡條デゴザイマス、是ハアナタモ十圓出ス、私モ十圓出スト云フコトデアリマス、持分ト云フモノハ剩餘金ノ分配ノ方法ガ異ナルニ從ッテスル

○都筑馨六君 ソレガサウ行カヌト云フモノハ剩餘金ハ拂込ニ充テロト云フコトガアル、ソレダカラ同ジ持口ガ十圓デモ剩餘金ノ分配ガ不平等ニ行クナラバ拂込モアナタト私ト同ジデナイカモ知レヌ、ソコデ何ノ爲ニ此十一條ヲ設ケタカト云フ疑ガ起ル

○政府委員(岡野敬次郎君) 固ヨリ剩餘金ノ分配ノ方法ニ從ッテ例ヘバ十圓ガ一口ノ金額デアッテ五圓ツ、拂ッテ來ル、是ニ依ッテ甲ハ三圓ノ分配ニ與リ乙ハ二圓ノ分配ニ與ルト云ヘバ、甲ノ拂ッタト認ムベキモノハ八圓デ乙ハ七圓デアアルカラ無論違フ、併ナガラ十圓ト云フ金額ハ同ジデアアル

○都筑馨六君 ソレデハ持分ガ變ッテ行クデヤ、サウアナタト私ト後ニ變ッテ行クデセウ、何ノ爲ニ之ヲ均一ニスベシト書イタカ、均一デナクテモ宜ササウナモノデアアル

○政府委員(岡野敬次郎君) ソレハ御尤デアリマスガ、詰リ是ハ便利ト云フニ過ギナイ、株式會社デモ御承知ノ通りニ日本ノ法律デハ株式ノ金額ハ均一デナケレバナラヌト云フコトニ定メデアリマスガ、サウ云フ例ハ外國ニハアリマシタカ知レマセヌガ、又反對ノ例デ株式ヲ幾ラ幾ラ扱フコトガ出來ヌガソレヨリ以上ハ幾ラデモ宜シイト云フコトモアル、詰リ何レガ便利デアルト云フ理由ヨリ外ニハナイ

○都筑馨六君 サウスルト持分ガズンズン變ッテ行クト云フコトニナルト有責任ノ十口マデヲ一人ニ持タスルト云フコトハ詰リ危クハナイカ、金持ハズンズン殘シテ行クト云フコトニナッテ持分ガ大變ニ殖エテ來ルト他ヲ壓スルヤウナコトヲ來タシハ致シマセヌカ

○政府委員(岡野敬次郎君) 無論其持分ガ非常ニ殖エテ來テ而シテ其持分ニ就イテ分配ヲスルト云フトキハ非常ニ資本ガ跋扈スル譯デアリマス、併シソレハ色々組合ニ依ッテモ事業ニ依ッテモ違ヒマセウガ、併シ御話ノ如キ嫌アルト云フコトハ先ヅ法律ノ規定竝ニ定款ノ認可ト云フモノデ抑ヘル積デアリマスガ、必シモ無限責任ニハ限ラヌ、若シモ持分ノ額ニ依ッテ剩餘金ヲ分配スルト云フコトガ原則デアルト云フコトニスレバ組合員ガ無限責任ヲ負擔シテ居ル場合デモ有限責任ヲ負擔シテ居ル時分デモ同ジデアアル

○都筑馨六君 有限責任ナラバ金デ責任ヲ負擔シテ居ルダケ、飽迄モ錢ヲ出サナケレバナラヌ無限責任ニナッテ居ルト一口ヲ持ッテ居ラウガ而モ尙ホ資本ノ跋扈ト云フコトヲ設ケタラ主トシテ中以下ノ人間ノ爲ニ造ッタモノデアアル、其責任ニ充ツヘキ財産ハタッタ一シカナイカラ少シ尙ホ變ニナッテ來ハシナイカト思ヒマス

○政府委員(岡野敬次郎君) 能ク其御話ノ點ハ了解シ得マセヌガ、ドウモ固ヨリ其詰リ組合ト云フモノガ他ニ對スル信用ノ上ニ於テ無限責任ヲ負擔スルガ宜シイ、或ハ有限責任デモ宜シイト云フコトヲ極メル、詰リ組合ト云フモノノ信用如何ニ依ッテ無限有限ヲ極メルノデ、固ヨリ組合ノ事業ノ成績ノ善イ場合ヲ想像シテ居ルノデアリマセヌカラ、ソレデ成程十口持タウガ一口持タウガソレハ全財産ヲ以テ組合ノ債務ヲ盡サネバナラヌト云フコトハ同ジデアリマスガ、ソレガ爲ニ組合ノ内部ニアッテ特ニ有限責任或ハ保證責任ニ比較スレバ組合ノ資本ノ著シク動クト云フコトハナカラウト思ヒマス

○小幡篤次郎君 無限責任ノ場合ニ當リマシテハドウシテモ一口持タセルコトガ出來マイト思ヒマスガドウデアリマセウカ

○政府委員(岡野敬次郎君) ソレハ詰リ組合ノ財産トシテドレダケ必要デアルカト云フコトニ依ッテ違ヒマス、無限責任ニシマシタ所デ出資ノ金額ガ少シデアッテ組合員各一口ニ限ルトアルト或ハ組合ノ目的ヲ達シナイコトモアラウト思ヒマス、併シ十口ヲ持ット云フコトト無限ト云フコトト相客レヌト云フコトハ理窟ニ於テハナカラウト思ヒマス、ソレハ合名會社ノ如キハソレデアラウト思ヒマス、合名會社モ出資ノ額ハ或ハ勞力ダケヲ出資トスル者モアリ、又或ハ一萬圓ノ財産ヲ持ッテ這入ル者モアリ、或ハ十圓ノ財産ヲ持ッテ這入ル者モアリ、從ッテ皆其社員ハ責任ヲ持タナケレバナラヌ、ソレカラ保險業法ノ方デ認メマシタ相互會社ニ於テモ同ジデアリマス

○小幡篤次郎君 今ノ自分ノ働クダケヲ持ッテ這入リマスル財産ノ澤山或ハ千圓持ッテ參ル者デ合資會社ヲ拵ヘルトキハソレヲ始ムルニハ其條約ヲ以テ這入ッタモノデスガ、今度ノハ一口二口ト口ヲ分ケテソレニ制限ガ付イテ一人ガ十口ト云フモノヲ以テ無限責任ニ這入ルト云フコトハドウモ理窟上立タヌト思ヒマスガ如何デスカ

○政府委員(岡野敬次郎君) 御答ヲ致シマスガ、先刻モ都筑サンカラ御質問ガアリマシタガ出資一口ノ金額ハ均一ニ之ヲ定ムベシト云フノハ便宜ニ過ギ

又、之ヲ假リニ一口ヲ十圓トスト云フノガ正シイモノト假定シテ組合員ノ出資十口ヲ超ユルコトヲ得ズト云フノハ組合員ノ出資ハ百圓ヲ超エズト云フコトニナル、サウナルト或ハ百圓出ス者モアリ或ハ十圓出ス者モアル、ソレハ合名會社ヤ合資會社ハ出ストキニ彼ハ十圓出ス彼ハ百圓出スト云フヤウニシテ組織スルト同シヤウニ此組合ニ於テ口數ト云フコトニ致シマシタル合名會社ト組織ガ變ルヤウデアリマスガ、金額ノ方カラ論ズルト矢張り百圓ヲ出資スル者モアル、五十圓ヲ支出スルモノモアルト云フノト變ラヌト思ヒマス

○都筑馨六君 何カ無限責任デ一口以上持タル資本的ノ原素ガ跋扈スルカト云フト略ボ同シクラ井ナ中以下ノ財産ヲ持ッテ居ル者ノ爲ニ設ケル組合デアルカラ同シクラ井ノ財産ナラバ到底一口以上ヲ持タスコトヲ殆ド許スヤウナコトハナカラウ、餘程財産ヲ持ッテ居ル限度ニ違ガアリマスカラ、今ノ十口トカ云フモノヲ持タルニ違ナイ、サウ云フモノガ餘計出來テ來レバ餘程ノ金持デナケレバイケナイ、十倍モ財産ヲ持ッテ居ル者デナケレバイケナイト云フ所カラ資本的ノソレガ即チ獨逸ナドノ無限責任デハ一口以上ヲ持タスコトヲ禁ジタ所以デナイカ

○政府委員(岡野敬次郎君) 成程無限責任ノ場合デ彼是組合ノ資産ガ均シイモノデアルト云フ場合デゴザリマスレバ實際組合ヲ設立スル場合ニ當ッテハ各、二口ニスルトカ各、三口ニスルトカ云フコトガ纏マル、ソレデスカラ御承知ノ産業組合デモ、信用組合デモ、販賣組合デモ、購買組合デモ、資本ハ是非他カラ借リネバナラス、ソレデ資本ヲ他カラ借リルニ就テハ素ヨリ必ズ組合員ガ中産以下ノ者ニ限ルト云フ譯デモアリマセヌ、ノミナラズ實際ノ必要カラ言ヘバ財產家ガ先キニ立ッテ組合ノ世話ヲスルト云フヤウナコトデナケレバ事實産業組合ト云フモノノ目的ヲ達スルコトヲ得ナイト云フ、サウ云フヤウナ場合ニハ十口ヲ持タセルニ付テ非常ナ弊ガアレバ禁ズル必要ガアリマセウガ、先刻來度ニ申シマス通り制限ガ加ヘテアツテ多分マア弊害ハアルマイ、又一方ニハ金持ヲ組合ニ入レルト云フ必要ガアリマスカラ、ソレデ左程ニ資本ノ元素ガ跋扈スルヤウナコトハアルマイト思ヒマス、尙ホ獨逸デハ御話ノ通り無限責任組合ニ限ッテハ各、一口ト云フコトニナッテ居リマス、其點ニ就テモ調ベテ見マシタケレドモ十分理由ガ分ラヌ、唯其剩餘金ノ分配ニ關スル制限ハ素ヨリナイ、矢張り理由ハ御話ノ通り資本ノ跋扈ヲ防グト云フコトダケノ理由シカナイデアリマス、色々其點ニ就テハ議論モシ考ヘテモ見マシタケレドモ何故ニ一口ニセネバナラヌカト云フ理由ハドウモ發見スルコトハ出來マセヌ

○富田鐵之助君 議決權ト云フコトハドウ云フコトニナッテ居リマスカ

○政府委員(岡野敬次郎君) ソレハ先刻モ申シマシタ通り出資ノ口數ヤ持分ニ依ラズ總テ議決權ハ一人一個トナリマス

○富田鐵之助君 ドコニアリマスカ

○政府委員(岡野敬次郎君) 第三十八條ニ民法ノ第六十五條第一項ヲ準用ス

トアリマス、民法六十五條ノ規定ハ一個ト云フ主意デアリマス、又今日マデ一個ト云フコトニナッテ居リマス、株式會社トハ餘程違ヒマス

○富田鐵之助君 私ハ平等ト云フコトハ間違ガナケレバ宜シウゴザイマスガ、私ハサウ解シテ居ラス、株券一個ニ就テ一ツ持ッテ居ルモノハ百ノ投票權ヲ持ット云フヤウニ解シテ居ル

○政府委員(岡野敬次郎君) 御話ノヤウナ議論モ多少民法ノ解釋トレテハアラウト思フ

○富田鐵之助君 今サウ云フ風ニシテ居マセヌカ

○政府委員(岡野敬次郎君) 保險業法ニ是ガアルカラ之ヲ明瞭ニスルガ宜カラウト云フコトデスウシマシタ、ソレデ組合社員ノ議決權ハ一個トスト云フ文字ヲ添ヘマシタ、此點ニ就テハ民法ノ起草委員ト私ハ議論ヲシマシタ、私ハドウモ御話ノヤウナ標準ヲ設ケテ其標準ニ據ッテ議決權ヲ計算シテ往ケバ是又平等ト云フコトガ言ヘルガ必シモ一個トハ解釋シ得ナカラウト思フ、民法起草委員ノ言ハレルノハサウ云フ主意デナイ各、一個ト云フ主意デ今日マデモ解釋シテ居ルノデアルカラ、實例カラ言ッテモ疑ヲ容レベキモノデアラウト思フ

○富田鐵之助君 保險會社デハサウハ認メテ居ラス

○政府委員(岡野敬次郎君) 會社トハ違ヒマス、民法ノ公益法人デ公益ヲ目的トシテ設立シタモノデ商會社トハ全ク違ヒマス

○都筑馨六君 定款ノ變更ハ總會決議ヲ簡略ニ出來ルヤウニ思フガ、少シ易ス過ギルヤウニ思フガ、餘所ノ例ハサウナッテ居リマスカ

○政府委員(岡野敬次郎君) 是ハ已ムヲ得マセヌト思ヒマス、併ナガラ定款ノ變更ハ矢張り認可ヲ經マス

○都筑馨六君 私ハ三分ノ二位デ宜ササウニ考ヘルガサウ云フコトデハナイデアリマスカ

○政府委員(岡野敬次郎君) 矢張りイカヌコトニ三十九條デナッテ居リマス

○富田鐵之助君 五十一條、組合員ガ左ノ理由ニ因リテ脱退ス、死亡トカ破産トカ云フ、處デ死亡スルトドウ云フ始末ニナリマスカ、素ヨリ死シテ仕舞ヘバ社員デナクナリマスガ、脱退ト除名ハ違フノデスカ……持分ハドウナルカ

○政府委員(岡野敬次郎君) 脱退ハ除名ノ一ツノ原因デアリマス、夫カラ五十五條ニ拂戻シノ期間ガアリマス

○都筑馨六君 四十一條四十條等ニアル一口ノ金額減少ノ決議、ソレカラ四十四條ノ持分ト云フモノハ分配シナイノデセウ、持分ト云フモノハ分配ガ出來ナイ、然ルニ四十條四十一條ヲ見ルト持口ノ減少ハ出來ル、斯ウ云フコトニナッテ持分ヲ矢張り分ケルノハ同シ結果デアラウト思フガドウ云フ譯デ持分ノ分配ハ全然禁ジテ持口ノ減少ヲ許シテアルノデスカ

○政府委員(岡野敬次郎君) ソレハ反對デアリマスガ、出資一口ノ金額ガ出資デ集ッテモノハ無論資本デ、表面ニ立ッテハ此會社ノ財産ガ唯一ノ組合ノ債

權執行ノ目的物ニナルノデアリマスカラ、ソレヲ濫リニ減少サレテハ困ル、併ナガラ持分ノ方ハ法律ノ規定ニ反セザル限りハ組合員ノ間ニ分配シテモ宜シ

○都筑馨六君 ドウモ分ラヌ、剩餘金ノ分配ハ出來マスセ、四十五條ヲ持分ヲ拂ヒ戻スコトハ出來ナイ、然ルニ持口ノ方ハ四十條四十一條ヲ減ラスコトモ出來ル、先刻ノ御説明デ見ルト持口ト云フノハ法律上出資ダト云フケレドモ、出資ノ後ニ損ガアルトカ得ガアルトカシテ其持口ハ疾ウニ變ジテ持分ニナツテ仕舞ッテ居ル、其持分トナツタ曉ニハ少シデモ分配スルコトモ出來ナケレバ減少スルコトモ出來ナイ、持口ダケガ増減ガ出來ル、ドウモソコガ混雜シテ分ラヌ

○政府委員(岡野敬次郎君) 御答致シマスガ、ソレハ斯ウ云フ主意デアアルノデ、此出資一口ノ出資ノ集ッタモノハ即チ資本デ、ソレデ無限責任ヲ負擔シテ居ル組合員デモ其組合ノ資本ハ即チ組合ノ債權者ガ優先權ヲ行フコトノ出來ルモノデアアル、有限責任ノ場合デモ矢張り同ジコトデアアル、免ニ角組合ノ財産ト稱スルモノハ組合ノ債權者ガ優先權ヲ行ヒ、他ノ組合ノ債權者ニ先ダツテ優先權ヲ行ヒ、若シ組合ノ債權者ガ組合ノ私有財産ニ對シテ執行ヲ爲ス場合ハ其組合一個ノ債權者ハ同ジ割合デナケレバ分配ハ出來ナイ、ソレデアアルカラシテ此組合ノ財産ハ組合ノ債權者ガ執行スベキ直接ノ目的物デアアル、ソコデ是ハ成ベク増減ヲサセヌト云フ主意デアリマスカラ、持分ノ拂戻モ成ベクサセヌ方ガ宜シ、併ナガラ非常ニ組合ノ成績ガ宜クテ定款ノ定ムル所ニ依ッテ段々持分ヲ殖ヤシテ行ツタ所デドウモ是程ノ金ノ使ヒ途ガナイ、寧ロ之ハ分配スル方ガ宜シ、斯ウ云フコトデアアルト詰リ定款ノ變更ヲスレバ即チ剩餘金ト云フモノニナルカラ其剩餘金ガアツタ後ニ於テ之ヲ分配スルト云フコトハ差支ナイ

○都筑馨六君 御主意ハサウデスケレドモ持口ガ動クノデセウ、アナタト私ト十圓宛出シテ其二十圓ト云フモノガ儲カレバ二十四圓ニモナリ、損ヲスレバ十六圓ニ減ルカモ知レヌ、其十六圓ニ減ツタモノモ矢張り持分デアアル、有限責任ノ時デモアト二圓宛ソレヘ出サナケレバナラヌト云フ債權者ニ對シテソナナ義務ハ有シテ居ナイ、ソコデ其十六圓ガ持口ト云ツテモ同ジコトニナルヤウニ私ハ思フ

○政府委員(岡野敬次郎君) アナタガ十圓出シテ私ガ十圓出ス、剩餘金ノコトハ丸デ外ニシテ仕舞ッテ考ヘテ見マスルデスネ、ソレデ其十圓ダケ御互ニ殘スニハ即チ二十圓ダケヲ保存シテ置イテ後ヲ分配シテ仕舞フ、其場合ニ出資ハ幾ラデアアルカト云フニ即チ十圓デアアル、持分ハ幾ラデアアルカト云フニ矢張り十圓デアアル、十五圓ニナツテ居ツタナラバ出資ハ十圓デアアルケレドモ持分ハ十五圓デアアル、ソコデ何故ニ出資ノ方ヲ斯ウ云フ規定ヲ設ケルカト云フト此普通ノ消費會社デアレバ例ヘバ株式會社デモ宜シ、別途積立金ガアル、或ハ準備金ガアル、幾ラソレヲ溜メテ置イテモ無論法律デ禁ズル譯デハナイ、

ケレドモ假リニ法定準備金ガ無いモノトスレバ株主ガ拂ッタ所ノ十萬圓ナラ十萬圓ト云フモノハ保存セラレテ居ル限りハ後ノ金ハ株主ニ分配シテ宜シケレドモ、其會社ノ資本ト云フモノハ會社ノ債權者ノ唯一ノ擔保トシテ居ルモノデアアルカラ、此資本ヲ減少スル即チ株主ノ數ヲ減ズルカ或ハ株主ノ權利ヲ減ズルカ云フコトハ債權者ヲ保護スル上カラ相當ノ取締ノ規定ヲ設ケナケレバナラヌ、ソコデ此組合ニナツタモ持分ト云フモノハ成ルベク分配サセナイヤウ、持分ハ殖エサセヤウト云フ主義ヲ取ツタデアリマスカラ、第四十五條ニ斯ウ規定ヲ設ケタ、併シナガラ非常ニ剩餘金ガアツテ分配ノ節ニ段々持分ガ殖エテ來ル、幾ラ殖エテ此持分ヲ拂戻ストハナツテ居ラヌ

○都筑馨六君 丁度サウスレバ持分ハ減ラシテモ宜イケレドモ持口ヨリ以下ニ減ラスコトハ出來ナイト云フダケノ實際ノ差ガ出テ來ル所ノ結果ニナリハシマセヌカ

○政府委員(岡野敬次郎君) ソレハ持分ト云フコトニ付テハ何ノ制限モナラヌ、持分ハドウ云フヤウニ制限スルモノデアアル、剩餘金ノ分配ト云フコトハ一切定款ニ任シテ、苟モ持口一口以上アルモノハソレヘ分配シテ宜シト云フコトデアレバ御考ノ通り最小限ガ即チ出資ノ金額ニ止マリマスカラ……

○都筑馨六君 ソレカラ信用組合ト云フモノハ儲ツタ直グニ剩餘金トシテ分配スルト云フコトハ避ケナケレバナラヌコトハ分リマシタガ、此事業年度ト云フモノハ短クシテ置クガ宜イト思フ、就中初メノ事業年度ト云フモノハ短クスル方ガ宜イト思フガ、必ズ一箇年ニシナケレバナラヌ、一箇年以下ナラバ宜イケレドモ必ズ一箇年ニシナケレバナラヌト云フ制限ヲ設ケル必要ハナイヤウニ思フガ、ソコハドウ云フ譯デアリマスカ、又剩餘金ノ分配モ六箇月或ハ三箇月位ノ事業年度ニシテ置イテ、ソレデ其後六ヶ月經過シタ所デ分配スルト云フヤウニシタラバ宜イト思フガ、其邊ハ御調ベニナツテドウ云フコトデゴザイマシタカ

○政府委員(岡野敬次郎君) 此事業年度ノ長短ノコトニ付テハ恰モ時効期間ノ長短ノヤウナモノデドウモキツパリシタ理由ハ無論ナイ、人ニ依ッテ色々考ヘガ違フ、併シ一體事業年度ト云フモノガ即チ「ユーニット」單位ヲ一年ニシテ置クト云フノガ普通デアラウト思フ、若シ是ガ其間ニ於テ計算ヲシテ見ルト云フト元ヨリ剩餘ナク其他組合ノ事業ヲ實行スルモノガ或ハ三ヶ月毎ニナリ、或ハ六箇月毎ニナリ計算ヲシテ始末ヲシテ見ルト云フコトハ差支ナイ、併ナガラ今日ノ商事會社ガ半期毎ニ計算ヲシテ居ル、其半期毎ノ決算ト云フモノハ寧ロ剩餘金或ハ利益ノ配當ヲナスガ爲ノ決算デアッテ、年々會社ノ財産ガ幾ラアルカト云フコトヲ調ベルノ決算デハナイ、私ノ一己ノ考デハ商事會社ト雖モ從來ノ日本ニ於ケル歴史ガナイナラバ、矢張り事業年度ヲ一年ニシタイト云フノデス、併シ實情ガ許シマセヌカラ、二回以上配當ヲ許スコトニナツテ居ルガ、此產業組合ノ如キハ利益ヲ分配スルト云フコトガ重ナ目的デハナイノデアリマスカラ、ソレデ矢張り一年一年ニ計算ヲシテ果シテ此一

年ニ於テ損ヲシタカ、或ハ一年ニ於テ利益ヲシタカト云フコトヲ見テ、サウシテ之ヲ總會ノ決議ニ掛ケルト云フコトニナツテ居ル、ソコデ固ヨリ其一年間ニ或ハ三箇月ナリ或ハ六箇月毎ニ決算ヲシテ見ルト云フコトハ法律ガ禁ズルノデハナイ、苟モ事業年度ヲ定ムル以上ハ損益ノ貸借對照表ヲ作ツテ幹事ノ意ヲ加ヘテ總會ヘ提出シテ議決ヲ爲スト云フノデアリマスカラ、而シテ組合員ノ數ガ多數デアルト御話ノヤウニ三箇月毎ニ總會ヲ召集スルコトガ頻繁ニナツテイカヌト思フデス

○都筑馨六君 御承知ノヤウニ今ノ商事會社ト云フモノガ大抵ノ會社ハ決算ハ一年デアルケレドモ、利益ノ分配ハ春秋二期ニアル、前期後期ノ事業年度見タヤウナモノハ決算ノ方カラナツテ居ラヌカラノ方ガ事業年度ノヤウニナツテ居ル、サウシテ此產業組合ト云フヤツハ事業ノ年度ノ時ニ直ニ利益ヲ分配スルト其先キニ損ヲシタトキニ中以下ノ人間ガ多イカラ困難ヲ惹起スト云フコトガアルカラ後期ノ剩餘金ヲ以テ來年ノ損失ヲ償フヤウニシタ方ガ宜クハナイカ、サウスレバ六箇月經ツタラ直グニ利益ヲ分配スルト云フコトヲセズシテ再來事業年度ノ初ニ分配スルト云フ仕組ニシタ方ガ安全デアアルマイカト云フ問題デアル

○政府委員(岡野敬次郎君) 今日ノ商事會社ノ決算ガ一年デ利益ノ配當ガ二期デアルト云フノデハナイ、利益ノ配當ヲスルニ付テハ決算ヲシナケレバナラヌカラ又半年期ニ決算ヲスル、利益ノ配當ヲスルト同ジコトニナル、必ズ決算ヲシナケレバナラヌカラ此組合デハ定款ヲ以テ先ヅ第一ニ準備金ヲ積立テナケレバナラヌ、第四十六條ニ定款ヲ以テ定メタル準備金ノ額ニ達スル迄事業年度ノ剩餘金ノ四分ノ一以上ヲ積立テ、居ラナケレバナラヌト云フコトハ一ノ規定デアリマス、又此四十三條ニアル通り出資ノ拂込ヲ終ルマデハ之ニ配當ヲスベキ剩餘金ガアツテモ出資ノ何ニ充テナケレバナラヌト云フノデ、隨分組合員ノ資産ヲ殖ヤシ會社ニ組合員ノ持分ヲ殖ヤスト云フコトニ勉メテ居ルノデアリマスカラ、此上ハ尙ホ半年以上ヲ經ナケレバ決算ヲシ配當ヲシテハナラヌト云フノハ餘リ窮窟デハアルマイカ、又ソレ程ノ必要モナカラウト云フ考デアリマス

○都筑馨六君 此五十三條ト五十四條、組合員名簿ニ記載シタル事業年度ト云フト最初申出シタ年度ニナツテ來ルデセウ脱退ハ……

○政府委員(岡野敬次郎君) 無論其申出シタ事業ノ年度ノ終デアリマスカ、併ナガラ六箇月前ニシナケレバナラヌノデアリマスカラ、例ヘバ事業年度ノ終ガ十月三十一日デアルト九月頃ニナツテ豫告スルノハソレハ法律上無効ニナル、半年以前カラ脱退スルゾト云フ意思ヲ表示シナケレバナラヌ

○都筑馨六君 ソレヲシマスルト全ク組合員ノ變動ハ無イ方ガ宜シイ、今年ハ儲カルナト思フトキニヤラレト隨分危險ナコトガ多イ、今年ハ損ヲシタト云フトキニ脱退シテ來ルト云フ虞ハアリハセヌカ、モウ一ツハ毎年度ノ財産表デ分ケテヤルト云フ仕組ノ方ハ宜クハナイカ、獨逸ノガハサウナツテ居

ルト思フガ、申込デ脱退スル年ノ年度ノ事業年度ノ計算ヲ拂渡シテ居ツカト思フ

○政府委員(岡野敬次郎君) 御話ノヤウナ弊害ハ多分ナカラウ、ト云フモノハ第五十八條ニ於テ「無限責任組合及保證責任組合ニ在リテハ脱退シタル組合員ハ脱退前ノ組合債權者ニ對シ其脱退ヲ組合員名簿ニ記載シタル後二箇年間責任ヲ負擔ス」トアリマスカラ、今豫告ヲシテ、ソレデ一切組合ニ關係ハナイト云フコトハ言ヘナイ

○都筑馨六君 債權ノ方ハサウデスガ、損ヲスルトカ儲カル年ヲ見込デ逃ゲルトサウ云フヤウナ弊ガ起リハシマセヌカ、ソレヲ除ク爲ニ獨逸ナドデハ前年度デアツテ居ツタカト思フ

○政府委員(岡野敬次郎君) 獨逸ノ法律ニ其規定ガアツタカハ私ハ記憶シテ居リマセヌガ、私ノ思フニハ多分ナカラウト思フノデス、サウ云フコトハ……

○都筑馨六君 ソレハナイコトハナイ

○政府委員(岡野敬次郎君) 獨逸ノハ第七十一條ニ脱退シタルモノト組合員トハソレハ脱退シタルトキノ組合員ノ持分ト、ソレカラ其脱退シタルトキノ組合員ノ財産ニ依ツテ極メ、サウシテ其今ノ拂戻決算ヲシテ拂戻ヲナスノハ貸借對照表ニ依ツテヤル、ソレカラ脱退ハ六箇月間ニ脱退シタル組合員ノ財産ニ依ツテシナケレバナラヌ

○委員長(子爵谷干城君) 速記ヲ止メテ……

(速記中止)

○政府委員(岡野敬次郎君) ソレハ何ガ適當ナ時期デアルカト云フコトニ止マル、何レノ期間ガ最モ適當デアルカニ止マル保險業法デモ矢張り一年ト云フコトニシマシタ、私一己ノ考カラ言フト今ノ商事會社デモ一年ニシテ、詰リ一年掛ツテ見レバ凡ソ組合ノ成績ガ良カッタカ惡ルカッタカト云フコトハ判斷シ得ラル、餘リ期間ガ短クテハ短イ期間ニ儲ケテソレカラ次ノ期間ニ損スルカモ知レヌ、ダカラ長イ期間ノ方ガ宜イ、サレバト云ツテ二年トカ三年ト云フヤウニナルト極端ニ流レルカラ一年ト云フノガ適當デアラウ

○都筑馨六君 丁度ソコデス、今ノ事業ノ年度ニ直グニ分配サセルハ危險ダ、次ノ年度ニ損スルカモ知レヌ、ソレダカラ事業年度ヲ短クシテ事業年度ヲ置イテ、更ニ再來年度ニ分配サセル方ガ宜カラウト思ヒマス、併シソレモ宜イデス

○小幡篤次郎君 第十條ノ「產業組合ハ其ノ組合員ノ數ヲ限定スルコトヲ得ス」ト云フコトハドウ云フコトデアリマスカ

○政府委員(岡野敬次郎君) 商業組合ト云フモノガ事業ヲ十分ニ發達セシメ且ツ組合ノ利益ヲ圖ルト云フニハ成ベク組合員ノ數ガ大キイ方カ宜イノデ、組合員ノ數ヲ大キクシテサウシテ僅ノ資本ヲ集メテ僅ノ品物ヲ集メテソレヲ運轉スルト云フコトデナクテハ產業組合ノ目的ヲ達スルコトハ得ナイ、ソレデアリマスカラ此產業組合員ノ數ハ百人ニ限ルトカ百五十人ニ限ルト云フコ

トヲ設ケシムルノハ産業組合ノ本體ニ反スルト云フモノデアリマス、恰モ例ヘバ生命保險會社ガ三十人ニ限ル或ハ四十人ニ限ルト云フコトヲ許サヌト稍、同シ理由デアリマス、併ナガラ組合員タル資格ニ就テ斯ウ云フ資格ノモノデナケレバ組合員ニ入レヌト云フコトハ其組合ノ事情ニ依ツテ定メル外ナイ、相當ノ資格條件ガアレバ苟モ其資格ヲ備ヘテ居ルモノヲ組合ニ入レヌト云フコトハ産業組合ノ性質カラ中スト穩デナイ、素ヨリ無限責任ヲ負擔スル組合デアリマスルト免ニ角無限責任ヲ以テ信用ノ基礎トスル組合デアリマスカラ是ニ就テハ第四十九條ニ無限責任組合ニ加入セムトスル者ハ總組合員ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス」ト云フコトニナツテ居ル

○小幡篤次郎君 如何ニモデゴザイマスガ、制限スルコトヲ得ズト云フ箇條ヘ入レナクテモ其主意ハ達セラレナイコトハナササウニ考ヘルガ……

○政府委員(岡野敬次郎君) 詰リ組合員ノ數ヲ定款ヲ以テ限ツテ來タナラバ許サヌト云フコトデアレバ誠ニ御話ノ通り目的ハ達セラレヌト思フ、組合員ノ數ヲ限定セヌト云フコトハ産業組合ノ一ツノ根本ノ考デアルト云フ上ハ定款ノ認可ニ委スルヨリハ寧ロ法律ヲ規定シテ置クガ穩當デアラウ、獨逸ニハ矢張りサウナツテ居リマス

○小幡篤次郎君 モウ一ツ伺ヒタウゴザイマスガ、第一條ノ第四號ノ「組合ヲシテ産業ニ必要ナル物ヲ使用セシムルコト」此必要ナル物ト云フノハ餘所カラ持ツテ來テモ構ハヌノデスカ

○政府委員(岡野敬次郎君) 是ハ組合ガ例ヘバ近イ例ガ鋤ヲ買ツテ來ルトカ鋤ヲ買ツテ來ルトカシテ組合ニ備ヘテ置ク、サウスルトソレヲ組合員ガ……百姓ガ一日幾ラデ借りテ往クト云フコトヲ言フ、其物ハ豫メ他カラ買ツテ持ツテ往ク

○小幡篤次郎君 此必要ナリト云フコトデゴザイマス丁度組合員ノ生産シタモノ、繭ガ出來テソレヲ絲ニシテ仕舞フト云フノモ此生産組合ノ……(聞取り難シ)此組合員ヲシテ産業ニ必要ナルモノト……其繭ヲ持ツテ來テ使ハセルト云フ……今ノ御説明ニ依レバ機械絲ノヤウニ……(聞取り難シ)ドウモ産業ニ必要ナルモノヲ使用セシムルト云フノデハ少シ意味ガ漠トシテ分リマセヌガ……

○政府委員(岡野敬次郎君) 御答致シマスガ、此四號ニ生産組合ト云フ名稱ハ付シテアリマスガ、生産ト云フ範圍、例ヘバ今御話ノヤウナ繭ヲ持ツテ來テ絲ニスルト云フコトモ生産ノ一デアリマセウ、又例ヘバ馬ヲ蓄ヘテ居ツテ之ヲ使フト云フコトハドウモ生産ト云フヨリハ寧ロ使用ト云フ文字ノ方ガ當ルカモ知ラヌ、併ナガラ使用ト生産トハ何レノ點ニ於テ區別ガアルカト申スト其境ニ至ルト詰リ分ラヌ、ソレデ便宜上生産組合ト云フ名稱ヲ與ヘタノデアリマスケレドモ、詰リ此四項ハ御話ノヤウニ組合ヘ機械ヲ備ヘテ置イデ、組合員ガ品物ヲ持ツテ來テソレニ勞力ヲ加ヘテ賣フト云フノモ這入リマス、又組合ニ備ヘテアル所ノ物ヲ組合員ガ借りテ來テサウシテ自己ガソレヲ用井

ルト云フ場合モアル、詰リ此四項ハ總テサウ云フ場合ヲ含ンダ廣イモノデア

○委員長(子爵谷干城君) 是ハ私共ノ郷里ニハ既ニヤツテ居ルガ、牛デスネ牛ヲ五人トカ六人トカ使用スルモノガ組合カラ借りテ來ル、ソレヲ一日使ッタラドノ位トカ、一日使ッタラドノ位トカ云フテヤツテ居ル、是等ハ何モコンナ法律モ何モナイケレドモ農家デハ自然ノ習慣ニナツテ居ル、ソレカラモウ一ツ我々ガ希望シテ居ルノハ機械デスネ、機械ノヤウナモノモ是デ今ノ農業ヲ進行サセヤウト思ウテモ細イモノデハ中々行ハレナイ、ソレヲサウ云フ組合デ拵ヘテ百圓位ナ機械ヲ一ツ拵ヘテ吳レバ例ヘバ農家ニハソレヲ持ツテ來レバ今マデ三日モ四日モ掛ツタモノガ一日デ出來ルト云フ便利モアル、斯ノ考ヘハ極ク單簡デヤリタイト云フ考ヲ持ツテ居ル

○政府委員(岡野敬次郎君) ソレハ此第四項ニ云フ産業組合ノ主旨デアリマス

○子爵戸田忠行君 チョット此五十三條デゴザイマスガ「脱退シタル組合員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ其ノ持分ノ全部又ハ一部ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得」トアリマスガ、此脱退シタルモノデ全部ハ宜ウゴザイマスガ、其一部ノ拂戻ヲ請求スルト云フノハ脱退シタルモノ幾ラカ後ヘ殘ス譯ニナリマスガ

○政府委員(岡野敬次郎君) 是ハ第五條ニ明記シテアリマスル通り定款ノ規定ニ讓ル考デアリマスル、實ハ理論カラ申シマスレバ持分デアル以上ハ全部脱退シタル組合員ガ持ツテ行クノガ當然デアリマセウ、併ナガラ既ニ五十條ニ於テ何時デモ脱退ハ出來ル、其脱退ノ原因ニ依ツテ……成ルベク一度組合ニ這入ッタナラバ後カラ加ハツテ來ル方ハ第二トシテモ既ニ組合員ニナツテ居タモノハ去ルコトハ成ルベク好マヌト云フノデ、或ハ持分ノ全部ヲ返サンデ脱退ノ原因ニ依ツテ或ハ七分返ス或ハ全部返ス或ハ五分返スト云フヤウナコトハ定メテ宜イト云フ主意デアリマス

○子爵戸田忠行君 分リマシタ

○委員長(子爵谷干城君) ソレデハ今日ハ是マデト致シテ明日十時カラ始め

午後二時三十分散會